



株主の皆様へ

第112期 第2四半期のご報告

2020年4月1日～2020年9月30日

株式会社 サンエー化研

株主の皆様には、日頃より格別のご支援とご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

第112期第2四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年9月30日）における当社グループを取り巻く経営環境と事業活動の概況並びに通期経営成績の見通しについてご報告させていただきます。



代表取締役社長 山本 明 広



当第2四半期の経済情勢

当第2四半期連結累計期間における世界経済につきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的流行による急激な悪化から回復傾向にありますが、新規感染者数の増加に歯止めがかからず、依然として景気は低調な状態が続いています。

わが国経済につきましては、政府による経済対策の効果もあって、徐々に持ち直しつつありますが、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため経済活動の制限や自粛が続いており、景気が元の水準まで回復するには長い期間を要するものと予想されております。



当社グループの業績概況

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績概況といたしましては、一部の製品で売上を伸ばしましたが、世界的な景気悪化の影響を受け、特に機能性材料製品の受注が落ち込み、売上高は前年同期比で減少しました。損益面については、売上の減少に伴い、営業利益は減益となりましたが、為替差損及び持分法による投資損失の減少により、経常利益は増益となりました。

その結果、当社グループの経営成績は、売上高134億94百万円（前年同期比11.8%減）、営業利益1億56百万円（前年同期比14.7%減）、経常利益2億45百万円（前年同期比18.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億72百万円（前年同期比42.6%増）となりました。



今後の施策と通期業績見通し

当第2四半期連結累計期間の経営成績は前述のとおり厳しい結果となりました。今後につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期が未だ見通せないなか、この状況が長期化することも想定し、以下の方策を進めながら事業の再構築に取り組んでまいります。

軽包装材料セグメントにつきましては、受注が好調な電子レンジ対応食品包材「レンジD o !」の増産に対応するため、製袋機を増設するとともに、食品メーカーとの協業により、「レンジD o !」の商品価値向上とシェア拡大を目指します。

耐内容物包材やエア緩衝材等の独自商品についても新たな用途や顧客を開拓し、製品ラインアップの拡充や既存製品の改良・改善を進め、売上回復に努めます。

また、環境に配慮した包材の開発にも積極的に取り組んでまいります。

産業資材セグメントにつきましては、10月より子会社化したシノムラ化学工業（株）との緊密な連携が最大のテーマとなります。布へのラミネート製品の分野に強く、効率生産を得意とする同社と、クリーンな環境を有し、生産性の高い当社掛川工場WEST、そして顧客の多様なニーズへの柔軟な対応力をもつ当社袋井工場との間で生産体制を再構築し、最大のシナジーが得られるよう取り組んでまいります。

機能性材料セグメントについては、顧客密着型の開発態勢をより強化して、新製品の開発段階から顧客との協業関係を構築し、将来の受注機会を確保いたします。

また、テレビやスマートフォンの高画質化に伴って高度

化する品質要求に対応しつつ、V A・V Eの手法を駆使し、コストダウンを図ります。

その他、新製品として、抗菌・抗ウイルス性を付加した「バイプロテープ」の販売を開始しました。コロナ禍におけるニーズに合った製品として幅広い顧客層へ紹介し、収益拡大を目指します。

その結果、当社グループの通期の経営成績は、売上高290億円（前期比2.4%減）、営業利益2億50百万円（前期比37.8%増）、経常利益4億円（前期は経常損失1億61百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益2億80百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純損失13億38百万円）を見込んでおります。

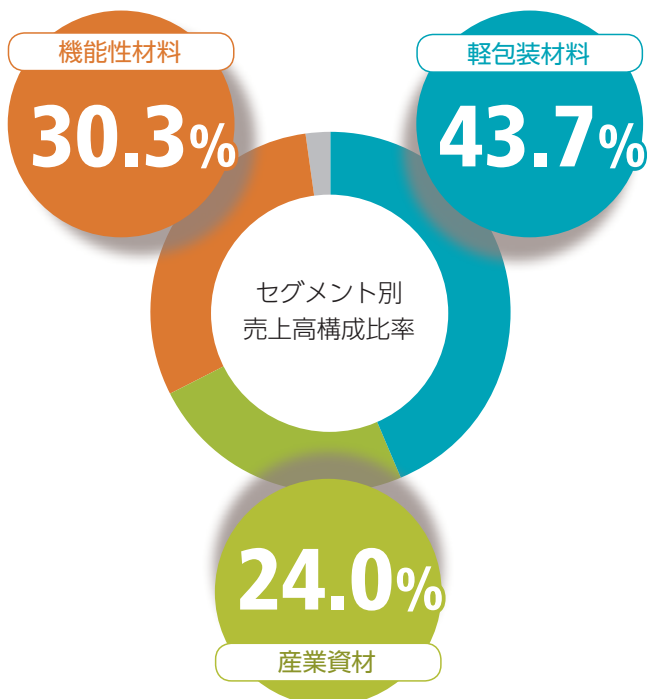
なお、セグメント別の売上高は、軽包装材料117億円（前期比0.5%減）、産業資材87億円（前期比19.2%増）、機能性材料81億円（前期比19.3%減）、その他5億円（前期比16.2%減）を見込んでおります。

2020年12月

■ 第2四半期決算ハイライト

売上高	➤	134億94百万円 (前年同期比 11.8%減)
営業利益	➤	1億56百万円 (前年同期比 14.7%増)
経常利益	➤	2億45百万円 (前年同期比 18.9%増)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	➤	1億72百万円 (前年同期比 42.6%増)

セグメント別のご報告



■ セグメント別売上高

売上高	134億94百万円
軽包装材料	58億94百万円
産業資材	32億39百万円
機能性材料	40億87百万円

軽包装材料



事業内容

食品、医薬品、医療器具、洗剤・トイレタリー用品、電子部品、精密機器等の包装材料(包材)の製造・販売を行っています。市場ニーズを的確にとらえ、内容物に最も適したパッケージを供給するとともに、自然環境に優しい包材の開発にも取り組んでいます。

当第2四半期連結累計期間の概況

食品用包材については、外食に代わって内食の機会が増加し、電子レンジ対応食品包材「レンジD o !」の受注は好調。一方、清涼飲料用パウチは、外出自粛で受注が伸び悩み、売上は前年同期並み。

医薬品・医療用包材については、高防湿PTP包装用フィルム「テクニフィルム」の受注が低調。その他の医療用包材も受注が伸びず、減収。

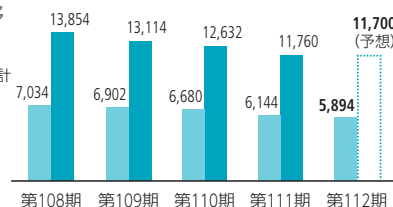
洗剤・トイレタリー用包材については、外出自粛の影響で化粧品関連の受注が伸び悩むも、ハンドソープ、消毒液、液体洗剤等の詰替え用パウチの受注が増加し、増収。

精密機器その他の包材については、物流の停滞等によりエア緩衝材全般で受注が減少。その他の包材も低調で、減収。

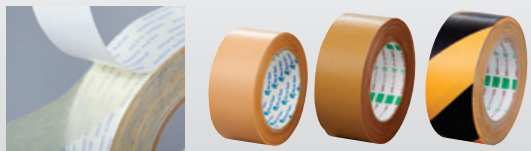
売上高の推移

(単位:百万円)

■ 第2四半期累計
■ 通期



産業資材



事業内容

粘着テープ・ラベル等の基材、剥離紙の製造・販売を行っています。近年は、粘着テープやラベルの用途が多様化・高度化しており、こうした要求に応え、長年にわたり培ってきたラミネート技術や離型剤塗工技術を駆使し、新製品開発を進めています。

当第2四半期連結累計期間の概況

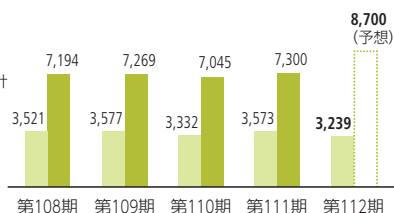
テープ基材関連製品については、物流の停滞により梱包用テープの需要が減少。自然災害の発生に備えて増加していた養生用テープの需要も一服し、減収。

剥離紙については、自動車部品関連やPOPラベル関連の受注が減少。FPC（フレキシブルプリント基板）用工程紙については夏以降回復するも、第1四半期の受注不振が響き、減収。

売上高の推移

(単位:百万円)

■ 第2四半期累計
■ 通期



機能性材料



事業内容

粘着塗工タイプ、2層押出しタイプ、精密塗工タイプに分類される各種表面保護フィルムの製造・販売を行っています。フラットパネルディスプレイ向け偏光板や輝度向上フィルム等の光学用途から建材用途に至るまで、様々な部材を加工時・輸送時・保管時のキズ・ホコリ・汚染から保護します。

当第2四半期連結累計期間の概況

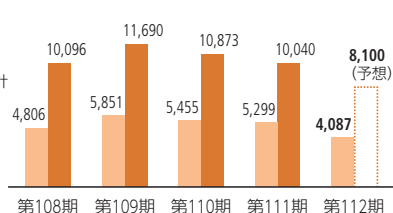
粘着塗工タイプ「サニテクト」については、一般用途の受注が減少。一方、テレワーク導入企業の増加によりパソコン向けが好調で、増収。

2層押出しタイプ「PAC」及び精密塗工タイプ「SAT」については、新型コロナウイルスの感染拡大による景気悪化の影響を受け、偏光板用やスマートフォン関連の受注が減少し、減収。

売上高の推移

(単位:百万円)

■ 第2四半期累計
■ 通期



四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前期末 2020年3月31日現在	当第2四半期末 2020年9月30日現在
資産の部		
流動資産	20,075	18,307
現金・預金	6,341	5,513
売上債権	10,341	9,669
たな卸資産	3,274	3,089
その他	117	33
固定資産	11,552	11,787
有形固定資産	6,520	6,488
無形固定資産	27	21
投資その他の資産	5,004	5,277
資産合計	31,627	30,094
負債の部		
流動負債	12,303	10,633
仕入債務	6,148	5,386
短期借入金	4,120	3,180
その他	2,034	2,066
固定負債	1,982	1,867
長期借入金	355	134
その他	1,627	1,733
負債合計	14,286	12,500
純資産の部		
株主資本	15,983	16,057
資本金	2,176	2,176
資本剰余金	2,136	2,136
利益剰余金	11,787	11,860
自己株式	△116	△116
その他	1,357	1,536
純資産合計	17,341	17,593
負債純資産合計	31,627	30,094

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期(累計) 2019年4月 1日から 2019年9月30日まで	当第2四半期(累計) 2020年4月 1日から 2020年9月30日まで
売上高	15,297	13,494
売上原価	13,592	11,924
売上総利益	1,705	1,570
販売費及び一般管理費	1,521	1,413
営業利益	184	156
営業外収益	136	128
営業外費用	114	40
経常利益	206	245
特別損失	—	4
税金等調整前四半期純利益	206	241
法人税、住民税及び事業税	64	66
法人税等調整額	18	△2
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	120	172

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

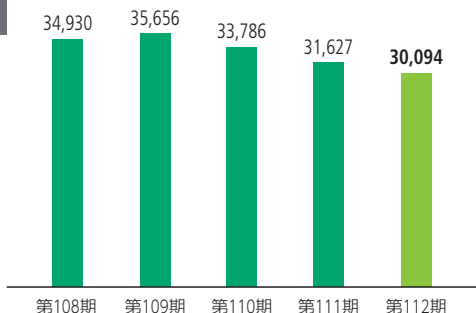
(単位：百万円)

科 目	前第2四半期(累計) 2019年4月 1日から 2019年9月30日まで	当第2四半期(累計) 2020年4月 1日から 2020年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	761	743
投資活動によるキャッシュ・フロー	△251	△232
財務活動によるキャッシュ・フロー	△300	△1,338
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13	△13
現金及び現金同等物の増減額	195	△840
現金及び現金同等物の期首残高	5,199	6,135
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,394	5,295

■ 総資産

(単位:百万円)

■ 第2四半期末
■ 期 末



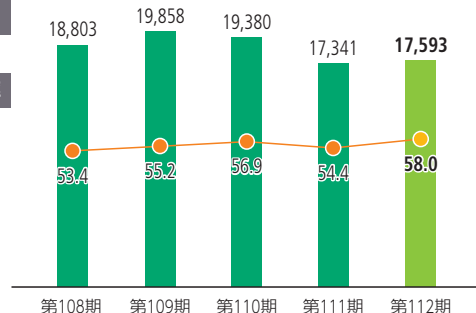
■ 純資産

(単位:百万円)

● 自己資本比率

(単位: %)

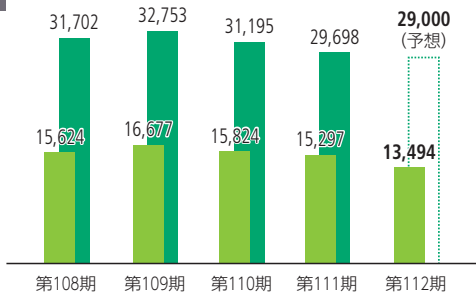
■ 第2四半期末
● 期 末



■ 売上高

(単位:百万円)

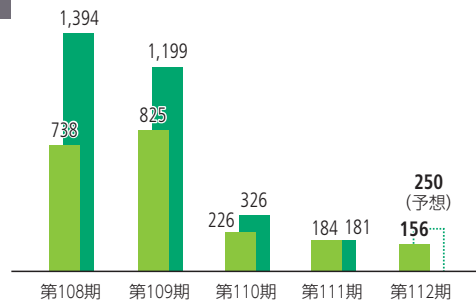
■ 第2四半期末
■ 期 末



■ 営業利益

(単位:百万円)

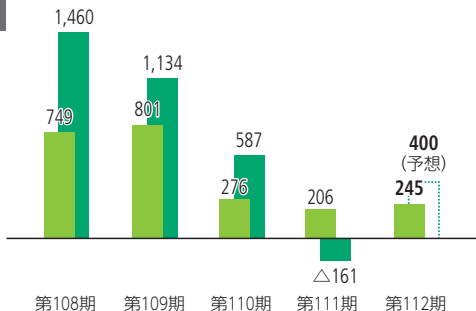
■ 第2四半期末
■ 期 末



■ 経常利益

(単位:百万円)

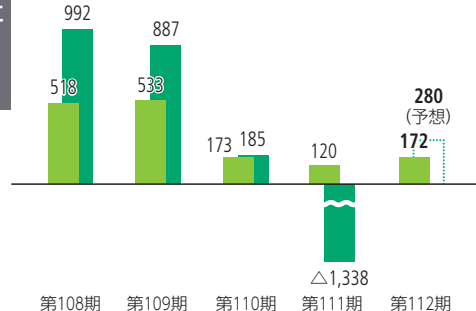
■ 第2四半期末
■ 期 末



■ 親会社株主に 帰属する 四半期(当期) 純利益

(単位:百万円)

■ 第2四半期末
■ 期 末



当社のフィルムテクノロジーは、産業を支える部材から、皆様の豊かな暮らしをサポートする食品、医療・医薬品、日用品などに使用される包装資材まで、幅広いジャンルでご要望にお応えしています。ここでは、これら製品群のなかから、**市場で注目されている製品**をご紹介します。

抗菌・抗ウイルステープ

バイプロ™テープ

表面にある特定ウイルスが
30分後に**99.9%以上減少**！

特徴

- 当社の独自技術を応用し製造した、抗菌・抗ウイルス作用をもつディスポーザブル(使い捨て)タイプのテープ。
- 目に見えないウイルスや細菌などの微生物に対して短時間で効果を発揮します。
- 表面にある特定ウイルスが30分で99.9%以上減少*。
- 廃棄時に有害な物質を発生させません。
- 特殊な粘着剤を使用することで貼合面へ糊残りがしにくい設計となっています。
- テープが貼られていることがひと目でわかる印刷つきもラインアップ。

※ ISO21702試験ウイルスの場合



使用例

テーピングテープ

キネシオロジーテープ

筋肉の動きをサポートする、
追従性のあるテープ

特徴

- 粘着剤は肌に優しいものを使用しています。
- 高い追従性を有することから皮膚へのストレスが少なくなっています。



公益社団法人日本包装技術協会の主催
「2020日本パッケージングコンテスト」でテクニカル包装賞を受賞しました。

味の素(株)の人気商品

「スチーマー Steam Me」

“おうちごはん”の機会増で
売上も大幅アップ!

特徴

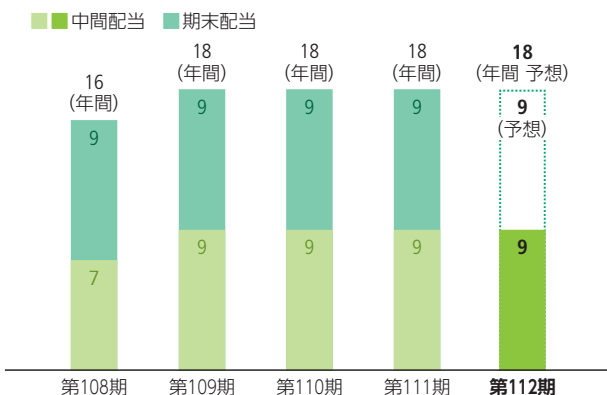
- 味の素(株)様が発売している圧力スチーム調理パウチ入り合わせ調味料。
- 調理に時間と手間のかかる料理が電子レンジを使って簡単に短時間で手作りできます。
- 当社製品「レンジDo!」のチャックつきパウチの技術が使用されています。



また、期末配当金につきましては9円を予想しております。これにより、第112期の年間配当金は合わせて1株当たり18円を予想しております。

■ 1株当たり配当金

(単位:円)



- IR カレンダー

第112期			第113期								
第4四半期			第1四半期			第2四半期			第3四半期		
2021年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
第3四半期 決算発表			本決算発表			株主総会／ 「株主の皆様へ」 送付			第2四半期 決算発表		
			招集通知送付			第1四半期 決算発表			「株主の皆様へ」送付		

2020年9月30日現在

株式の状況

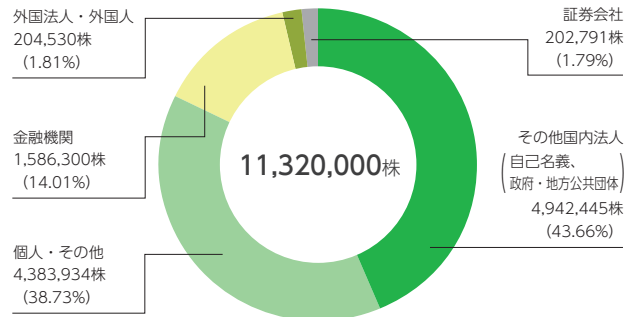
発行可能株式総数	45,000,000株
発行済株式の総数	11,320,000株
株主数	2,566名

大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)
新生紙パルプ商事株式会社	1,812,200	16.51
昭和ボックス株式会社	1,244,200	11.33
サンエー化研社員持株会	396,900	3.61
株式会社三菱UFJ銀行	310,000	2.82
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託口・昭和ボックス株式会社口)	300,000	2.73
みずほ信託銀行株式会社 (退職給付信託 昭和ボックス株式会社口)	300,000	2.73
双日プラネット株式会社	227,000	2.06
株式会社みずほ銀行	200,000	1.82
Japan Act合同会社	146,500	1.33
山田美千代	121,500	1.10

1.当社は自己株式を345,345株保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
2.持株比率は自己株式(345,345株)を控除しております。

所有者別株式分布状況



会社概要

商号	株式会社サンエー化研
本社所在地	東京都中央区日本橋本町1-7-4
事業所	関西支店、名古屋営業所、台北営業所 静岡工場、袋井工場、掛川工場、掛川工場WEST、 奈良工場 R&Dセンター
設立	1942年9月
資本金	21億76百万円
従業員数	534名
主な事業内容	紙、プラスチック、金属箔等を主原材料とする 軽包装材料、剥離紙、粘着テープ基材、表面保護 フィルム等、包装材料関連製品の製造及び販売

連結子会社

東邦樹脂工業株式会社
本社・工場／栃木県下都賀郡野木町野木148
株式会社ペンリード
東京都中央区日本橋本町1-7-4
灿櫻(上海)商貿有限公司
中国上海市長寧区虹橋路

役員

代表取締役会長	藤岡 宣 隆	社外取締役	藤 澤 廣 一
代表取締役社長	山 本 明 広	常勤監査役	佐 藤 誠 一
常務取締役	櫻 田 武 志	監査役	宮 本 貞 彦
取締役	芝 彦 尚	監査役	飯 崎 充
取締役	山 本 元		

(注) 監査役 宮本貞彦及び飯崎充の両氏は、社外監査役です。

■株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領株主確定日	3月31日(期末配当) 9月30日(中間配当)
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711(通話料無料) 郵送先: 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 JASDAQスタンダード
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.sun-a-kaken.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします)

株式事務に関するお問い合わせ

- (1)住所変更、配当金の振込指定、単元未満株式の買取請求等のお申出先について
証券会社に口座を開設されている株主様は、当該証券会社にお問い合わせください。
証券会社に口座がないため特別口座に記録されている株主様は、上記の特別口座管理機関(兼株主名簿管理人)である、三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせください。
- (2)払渡期間経過後のお取り扱い
配当金領収証の裏面に受取方法を指定し、三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部までご郵送いただくか、同銀行全国各支店窓口にてお受け取りください。

●ホームページのご案内●

当社の詳細なIR情報は、ホームページをご覧ください。

当社ホームページの〈投資家情報〉では、詳細なIR情報を掲載しております。

また新製品情報をはじめ、業務内容や最新の企業情報、展示会情報等についてもご覧いただけます。



株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。

お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元にて到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を差しさせていただきます

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



<https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 4234

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjw.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。
QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2mediaについての詳細 <https://www.a2media.co.jp>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」

MAIL: info@e-kabunushi.com



〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-7-4
TEL 03-3241-5701 FAX 03-3241-5719



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

